



この人に聞く

全国納税貯蓄組合連合会
会長 飯島 賢二 氏

いいじま・けんじ 昭和26年埼玉県生まれ。本業は税理士。地元・熊谷署連に入会し、納貯活動をスタート。平成12年から同署連会長、同署連は中学生の作文の署連別作文応募総数で、4年連続全国1位に輝いた実績を持つ。

新会長として全納連の舵取りを担う

6月18日に開催された定時総会で全国納税貯蓄組合連合会の新会長に飯島賢二氏が選出された。全納連は昭和33年に設立され、今年で61年目を迎えるが、近年は財政基盤の弱体化や組合員の高齢化といった課題を抱えるなど、組織を取り巻く環境が厳しさを増している。これらの課題を打開するため、新会長としてどのように対処していくのか。飯島会長に聞いた。

大いなる「ときめき」を創出

——会長就任の抱負
方針を受け継ぎつつ、組織の財務構造や運営

私の会務運営の基本方針は「歴史を継いで新しきを計る」という考えです。古き良き歴史を引き継ぎ、そのうえで時代に即応した納税貯蓄組合でありたいと願っています。

元号も令和となり、新しい時代に入りました。この「歴史計画」を常に念頭に置き、令和という新たな時代にふさわしい納貯構築にチャレンジしていきます。

新井進前会長時代の因はいろいろ考えられ

形成を密にする必要があると考えています。全納連は役員会、執行部会、専門部会を年数回開催しています。出席するのは限られた人のみです。年一回の総会にしか出席しない代議員もおり、コミュニケーションの機会がまままま、お互いの意思疎通が不透明なまま議事、議案が決定されているのが実情です。

まずは、相互信頼の基盤として、コミュニケーションができる場をつくるべきだと思います。特に若年層の獲得が重

組織の活性化や若手につなげることは間違いないと思います。納貯には女性納税者として、社会や国のあり方を主体的に考え、自覚を育てることが租税教育の目的であると思っています。

若い層の育成、登用に力

役員等の若返りを推進

かつて各組合は、国や地方公共団体から補助金や奨励金が交付され、財政

社等とも連携して保険・共済商品に対する販

売事務手数料を受け取る等の導入が成功した事

かでした。しかし、現在、財政が逼迫して

在はそうした他者からの財政支援は一部の県

連等を除いてほとんどありません。

組織の硬直化では

要です。若い世代は会費制にも抵抗がありま

せんし、組織の活性化の構成員として税金を

含めた計算例や記載例、Q&A等を多数掲載して

いる。令和元年版では、最新の通達・情報等を収録

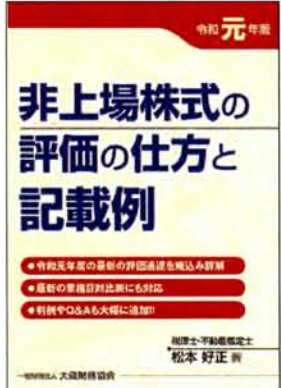
し、非上場株式に係る評価の仕方から評価明細書

および別表の書き方など、非上場株式の評価実

務について網羅的に解説した一冊。

地方組織とのコミュニケーションを密に

組織の活性化や若手につなげることは間違いないと思います。納貯には女性納税者として、社会や国のあり方を主体的に考え、自覚を育てることが租税教育の目的であると思っています。



注目の一冊

非上場株式の評価の仕方と記載例(令和元年版)と記載例(令和元年版) 松本 好正 著

本書は、非上場株式(取引相場のない株式)の評価のうち、同族株主の判定に重点を置き、さらに種類株式の評価および相互持合株式の計算なども

含めた計算例や記載例、Q&A等を多数掲載している。令和元年版では、最新の通達・情報等を収録し、非上場株式に係る評価の仕方から評価明細書

および別表の書き方など、非上場株式の評価実務について網羅的に解説した一冊。

B5判、668ページ。定価4320円(税込み)。申し込みは、(一財)大蔵財務協会販売局(TEL 03-3829-4141、FAX 03-3829-4001)。